



□ —「ホッカイドウ」の「アグリ」に関する「ホカホカ」情報を—
□□□□ 北海道農政事務所メールマガジン『ホカグリ通信』

□★□□□□ □

□□□□□□□□ 農林水産省北海道農政事務所

□ □□□□□ <https://www.maff.go.jp/hokkaido/merumaga/index.html>

□ □□ 令和8年10月2日発行 vol.270



■□■□■□■□■□■<ホカグリ情報局>■□■□■□■□■□■

(1) 野菜の入荷量と卸売価格の見通し（令和8年10月）について

▽北海道農政事務所は、札幌市中央卸売市場における令和8年10月の「野菜の入荷量と卸売価格の見通し」について、取りまとめました。

指定野菜の入荷量全体としては「前年・平年並み」と見込まれる中、「平年を上回る」と見込まれたのは、ブロッコリー、ばれいしょの2品目で、「平年を下回る」と見込まれたのは、キャベツ、なす、ピーマン、たまねぎの4品目でした。

指定野菜の卸売価格全体としては「前年よりは安く・平年並み」と見込まれる中、「平年を上回る」と見込まれたのは、はくさい、ほうれんそう、なす、トマト、ピーマンの5品目でした。

「平年を下回る」と見込まれたのは、ばれいしょ、たまねぎの2品でした。

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/press/suishin/keieiantei/260930.html>

(2) 令和8年度消費者の部屋10月展示のご案内

▽北海道農政事務所では、消費者の皆様身近な食生活に関する情報や、農林水産省の取組などを分かりやすくお伝えするため、消費者の部屋を設置し、パネル展示や資料の配布を行っています。

10月の月間展示は、10月13日の「豆の日」にちなみ、私たちの食生活に身近な豆の種類や特徴、北海道における生産の様子などについて、パネルや資料で紹介します。

また、10月18日は「統計の日」です。農林水産統計調査の役割のほか、統計データから分かる全国及び北海道の農林水産業の姿を紹介しますので、ぜひお立ち寄りください。

開催期間：令和8年10月1日（木曜日）から23日（金曜日）

時間：9時00分から17時00分

（土・日・祝日を除く。初日は13時00分から、最終日は13時00分まで。）

場所：北海道農政事務所「消費者の部屋」

（札幌市中央区北2条西19丁目8番 札幌第4合同庁舎1階）

詳細は以下をご確認ください。

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/press/anzen/seikatsu/261001.html>

（３）2026 年度一般職（高卒（事務））対象業務説明会の開催について

▽2026 年度国家公務員採用一般職（高卒（事務））対象業務説明会は、国家公務員一般職（高卒（事務））を目指す方に向けた北海道農政事務所のイベントです。仕事内容、職場・職員の雰囲気、キャリアパス等への理解を深めることができます。また、質疑応答では、若手職員の現場のリアルな話を聞くことができますので、ぜひ参加ください。

日時：令和 8 年 10 月 9 日（金曜日） 16 時 00 分から 17 時 00 分

10 月 29 日（木曜日） 16 時 00 分から 17 時 00 分

開催形式：オンライン

申込方法等、詳細は以下をご確認ください。

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/soumu/jinji/261009gyoumusetsumei.html>

（４）「アグリビジネス創出フェア 2026 ～フードテック×スタートアップ～技術をつなげ、未来をつくる～」を開催します！

▽農林水産省は、東京ビッグサイトにおいて、農林水産・食品分野の技術交流展示会「アグリビジネス創出フェア 2026」を開催します。

今年は、「フードテック×スタートアップ～技術をつなげ、未来をつくる～」をテーマに、大学・研究機関・民間企業など、全国から 167 機関が一堂に会し、農林水産・食品分野の最新研究や革新的な技術をブース展示・セミナーで紹介するとともに、ノウタス株式会社代表取締役会長の高橋明久氏による基調講演及び他の登壇者を交えたトークセッションを行います。

また、来場者と出展者とのマッチングを促進するため、農林水産・食品分野の専門コーディネーターによる相談やテーマごとに出展ブースを巡るマッチングツアーを行います。

本フェアの開催期間中、「産業交流展 2026」、「FOOD 展 2026」も同時開催されますので、ご関心のある方はぜひご来場ください。

日時：令和 8 年 11 月 11（水曜日）から 13 日（金曜日） 各日 10 時 00 分から 17 時 00 分

場所：東京ビッグサイト西 4 ホール（東京都江東区有明 3-11-1）

詳細は以下をご確認ください。

<https://agribiz.maff.go.jp/>

（５）食糧法の改正に伴う「米穀等取扱事業の届出」について

▽このたび、主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成６年法律第１１３号、以下「食糧法」）の一部が改正され、米の流通実態把握の強化のため、特定規模以上の米穀等取扱事業（出荷又は販売の事業、加工等事業）を行おうとする者は、新たに届出（食糧法第９条）が必要となります。

また、これまでの米穀の出荷又は販売の事業の届出（食糧法第４７条）についても、届出事項が追加となるため、改めて届出が必要となります。（令和８年１０月１日受付開始）

詳細は以下をご確認ください。

https://www.maff.go.jp/j/nousan/kokumotu/kome_todokede.html

（６）「GFP 北海道 輸出セミナー＆相談会 in 札幌」の開催について（再掲）

▽北海道農政事務所は、オール北海道での輸出拡大に向けた"GFP 北海道"のイベントを札幌市で開催します。

本イベントでは、海外市場の最新動向や、規制対応について学ぶことができます。

また、専門家等との個別相談を通じて、輸出先国の規制対応や販路拡大に向けた課題の解決をサポートします。

日時：令和８年１０月７日（水曜日）１３時００分から１６時００分

会場：北海道新聞社 交流スペース DO-BOX EAST （札幌市中央区大通東４丁目１番地 北海道新聞社ビル１階）

詳細は以下をご確認ください。

<https://www.maff.go.jp/hokkaido/press/syokuryo/syohi/260911.html>

（※９月１８日に配信のメルマガ通信 ２６９号にて、誤ったリンクを掲載しておりましたので、リンクを修正の上、再掲載いたします。）



▽北海道農政事務所及び各地域拠点で、Web サイトを開設しています。地域の取組や身近な情報の発信などを行っていますので、ぜひご覧ください。

○北海道農政事務所 (<https://www.maff.go.jp/hokkaido/>)

○札幌地域拠点 (<https://www.maff.go.jp/hokkaido/sapporo/index.html>)

○函館地域拠点 (<https://www.maff.go.jp/hokkaido/hakodate/index.html>)

○旭川地域拠点 (<https://www.maff.go.jp/hokkaido/asahikawa/index.html>)

○釧路地域拠点 (<https://www.maff.go.jp/hokkaido/kushiro/index.html>)

○帯広地域拠点 (<https://www.maff.go.jp/hokkaido/obihiro/index.html>)

◇メールマガジンの配信をご希望の方はこちら

◇バックナンバーはこちら

編集・発行：農林水産省北海道農政事務所 企画調整室

本メールマガジンに関するご意見・ご感想をお寄せください。

E-mail : hokaguri_tsushin000@maff.go.jp